

令和7年度経営発達支援計画

経営発達支援事業の目標

- ① 小規模事業者の売上拡大・利益向上の為の経営分析、事業計画策定支援
- ② 地域資源や地域の特性を活かした事業展開や創業等の増加を図る支援
- ③ 小規模事業者との対話と傾聴による自走を促す伴奏型支援

経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

地域動向を調査し、時流に応じた情報を提供することで経営課題への気づきに繋げ、課題解決の為の経営分析に繋げる。

地域経済動向レポート発行、HP掲載、メール便・巡回にて周知年4回実施

2. 需要動向調査に関すること

個々の事業者が開発・販売する商品・サービスや市内消費の動向のデータを収集し、事業者の参考となる情報提供を行う。

展示会、地域イベントを活用したサンプルサイズ

展示会を活用したB to B調査 400サンプル

地域イベントを活用したB to C調査 150サンプル

3. 経営状況の分析に関すること

現状の経済動向や需要動向を踏まえ、経営分析の必要性を訴え、経営分析に対する意識を高め、現状の把握に努める。

経営分析事業者数 233者

4. 事業計画策定支援に関すること

経営分析や各種セミナーをきっかけとし事業計画策定への意識づけから、事業計画策定に至るまでの支援を実施する。

事業計画策定事業者数 116者

事業承継計画策定事業者数 29者

創業計画策定事業者数 16者

事業計画策定セミナーの開催、DX活用セミナーの開催、創業塾の開催

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

策定した事業計画に基づく事業運営を行うため、進捗状況に応じて臨機応変に柔軟なフォローアップ支援を実施する。

事業計画策定事業者 計 232 回

売上増加 22 者 経常利益率 1%以上増加 19 者

事業承継計画策定事業者 年 2 回以上 計 58 回

創業計画策定者 年 4 回以上 計 64 回

6. 新たな販路開拓に寄与する事業に関すること

販路開拓を地域外に求める事業所へは展示会等への出展支援、地域内の顧客獲得を目指す事業所へはプロモーションツール強化支援を実施する。併せて IT 利活用支援を推進し、対象となるターゲットに応じた支援により販路開拓を目指す。

展示会・商談会への出展事業者数 20 者 成約件数 2 件／1 者

プロモーションツール支援者数 3 者 問合せ増加数 10 件／1 者

IT 活用支援者数 3 者 問合せ増加数 10 件／1 者

WEB サイト整備支援 自社 WEB サイト環境整備 10 社、売上 5%増/社